



雪だるま物産館全景
(出典：安塚町ゆきだるま財団)



貯雪場・農産物貯蔵庫

(5) 町立安塚小学校における雪冷房の導入

平成 13 年度の県の補助制度（豊かで快適な雪国づくり推進事業）を活用し、冬期の積雪を貯雪槽に貯蔵し夏期の冷房に利用する雪冷房システムを町立安塚小学校のランチルーム及び調理室へ導入した（冷房面積は 355 m²、貯雪量は 300 m³）。教育機関への雪冷房の導入は、全国的にもめずらしい事例であり、子どもたちに雪国のすばらしい地域特性を再認識させる契機となっている。



安塚小学校全景
(出典：安塚町ゆきだるま財団)



貯雪槽
(出典：安塚町ゆきだるま財団)

ニセコ町に導入するうえで考慮すべき点

安塚町の新エネルギーへの取り組みでの特徴は、雪を厄介者と捉えるのではなく、有効な資源として位置づけ、この資源をどのように活用し、「暮らし」「商い」「観光」「農業」「遊び」につなげて行くべきか、具体的に考え、積極的に導入している点にある。そればかりではなく、新エネルギーについては、施設や地形などを最大限生かすように徹底した複合型の新エネルギー施設としている。つまり、ただ単に新エネルギー技術を導入するのではなく、施設のある場所に依じて、どのような新エネルギーを導入すべきか、熟慮され、設置されているのである。新エネルギーの導入方法については、ニセコ町においても現在、そして将来に向かってどのような効果をもたらすのかを十分考慮して進める必要があると思われる。